

大人になるために

9月7日(土) 地域防災リーダー・都島消防署・都島区役所のみなさんをお招きして「地域防災」について学習しました。都島区役所の防災担当から、地震や津波など災害の備えについてお話がありました。

「南海トラフ地震」などの災害は、規模が大きいため公的機関が救援するまでに時間がかかります。家庭で備えておくべき備蓄食料の目安は、3日～1週間程度とされています。これは、災害が起きてから食料などの救援物資が届くまでの期間が約3日間、ライフラインの中でも最も復旧の早い電気の回復までに約1週間かかるとされているためです。

自助：水や食料のストックをする 共助：地域で互いに助け合う。

公助：国や地方公共団体の救援

中学生に求められる役割を考えましょう。

講話後、1年生は4班に分かれて三角巾・消火器・担架・煙テントの実習を体験しました。

—三角巾—



—煙テント—



—担架—



—消火器—



職業講話・命の授業

9月12日(木) 5時間目、エレクトロニカンパニー代表取締役社長 河相秀成さんをお迎えして仕事の意義についてお話をいただきました。長時間拘束される仕事は自分に合わなければ、お金をもらうだけで苦痛でしかない。河相

さんがカレー屋をするのは、「お客さんの健康のためであり、仕事は人のためにするもの」と言われました。自分の才能を磨く方法の1つを教えてくださいました。

9月13日(金) 6時間目に誕生学協会から並川メリー講師にお越しいただき、「命の授業」を行いました。人体のしくみや生命の誕生の神秘について語っていただきました。

「たくさんの偶然と奇跡から生まれたあなたの命を大切にしてください。」というメッセージをひとりひとりが受け止めてください。